

5 操作方法

《いろいろな使い方》この暖房器は手動運転と自動運転を選択することができます。

■手動運転・・・暖房器の基本的な使い方です。

- ・蓄熱量の設定 7ページ 暖房を行うために蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。
- ・暖房運転 8ページ 室内温度を設定し、蓄熱された熱を利用して暖房を行います。

■自動運転・・・知っているると便利な機能です。

- ・省エネ運転 9ページ 内蔵マイコンの機能により、暖房状況に応じて蓄熱量を自動的にコントロールします。無駄な蓄熱が無く経済的です。
- ・暖房予約 10ページ タイマー機能を利用して、設定した時間帯のみ、暖房運転を行います。

5-1 現在時刻の合わせかた

- ・蓄熱暖房器の機能を正しくお使いいただくために、始めに時刻表示を現在時刻に合わせます。



例 18時30分に合わせる。 ①100V及び200Vの電源を入れます。	
②「時刻調整」スイッチを押して時間を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	
③「時刻設定」スイッチを押します。	
④「時刻調整」スイッチを押して分を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	
⑤「時刻設定」スイッチを押すと、時刻表示部の右下が点滅し、時計が動き始めます。	



注意

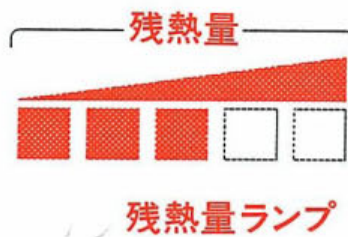
- ・「時刻設定」及び「時刻調整」スイッチはボールペンの先などで押して下さい。ハサミの先端や針などの先の鋭いもので押すと、故障や感電の恐れがあります。
- ・時刻表示がずれると、電気代が高くなる場合があります。
- ・時刻は24時間表時ですので、午前と午後を間違えないようにして下さい。

5-2 蓄熱量の設定

・暖房を行うために蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。



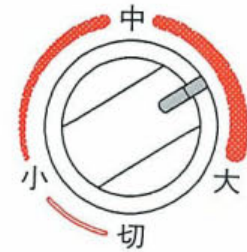
蓄熱中
ランプ



蓄熱量		
目盛	設定の目安	蓄熱の割合
大	真冬	100%
中	初春・晩秋	60%
小	春・秋	20%

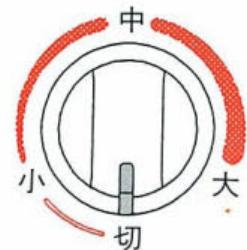
蓄熱量の設定

「蓄熱量」つまみで、蓄熱量を設定します。
 ※つまみの調整により蓄熱量を無段階に調整できます。
 小～大まで季節に合わせて設定して下さい。
 (上の表を参考に設定して下さい。)
 ※蓄熱は深夜の23:00から朝の7:00間に行われます。蓄熱中は蓄熱中ランプが点灯します。



蓄熱の停止

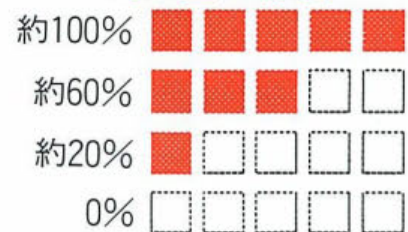
蓄熱を停止する場合は、「蓄熱量」つまみを「切」の位置まで回して下さい。
 ※「省エネ運転」ボタンのランプが点灯している場合は、「省エネ運転」ボタンを押してランプを消して下さい。
 (長期間停止する場合は200Vブレーカーを切って下さい。)



残熱量表示ランプ

※残熱量ランプは蓄熱中や暖房中に関わらず、どのくらいの熱量が残っているかを常に表示します。蓄熱量を設定する際の目安としてご利用下さい。
 (5段階で表示します。)

残熱量の目安

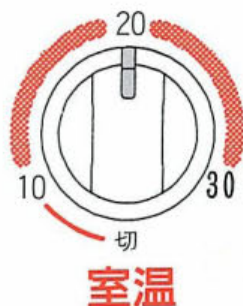


注意

- ・蓄熱は設定したその日の夜間に行われますので、最初の暖房は翌日から可能となります。
- ・蓄熱量の設定は夜23:00(PM11:00)時点の「蓄熱量」つまみの位置で決まります。

5-3 暖房運転

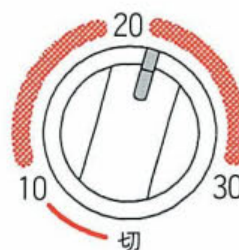
- ・室内温度を設定し、蓄熱された熱を利用して暖房を行います。



ファン強弱切替スイッチ

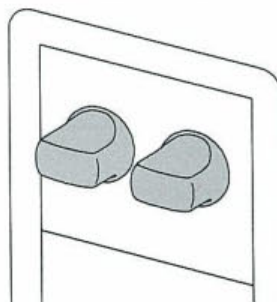
室温の設定

- 「室温」つまみをお好みの室内温度に合わせて下さい。
- ※設定温度となるように、ファンが自動運転します。
- ※22°Cくらいが経済的な温度です。
- ※目盛りは温度設定の目安としてご利用下さい。



ファン強弱の切替

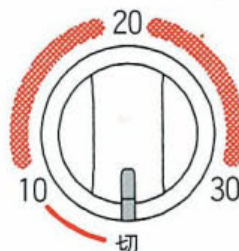
- 暖房器右側面のファン切替スイッチでファンの強弱を切り替えられます。
- ※普段は「LO」(弱)で、すばやく部屋を暖めるときは「HI」(強)でお使い下さい。



ファン強弱切替スイッチ

暖房の停止

- 暖房を停止する場合は、「室温」つまみを「切」の位置まで回して下さい。

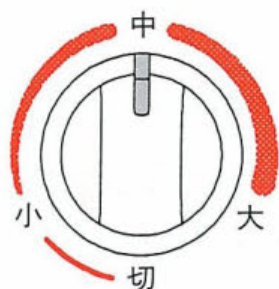


注意

- ・暖房器の設置状況により、目盛りと実際の室温に多少の誤差が出る場合があります。
- ・必要以上に室内温度を上げると、蓄熱量が不足する場合があります。

5-4 省エネ運転

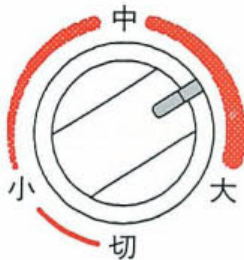


- ・内蔵マイコンの機能により、暖房状況に応じて蓄熱量を自動的にコントロールします。無駄な蓄熱が無く経済的です。



蓄熱量

省エネ運転
モードランプ



<p>蓄熱量の設定 「蓄熱量」蓄熱量つまみで初日の蓄熱量を設定します。</p>	
<p>省エネ運転の開始 「省エネ運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが点灯し、省エネ運転になります。</p>	
<p>省エネ運転の解除 再度、「省エネ運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが消え、省エネ運転が解除されます。</p>	

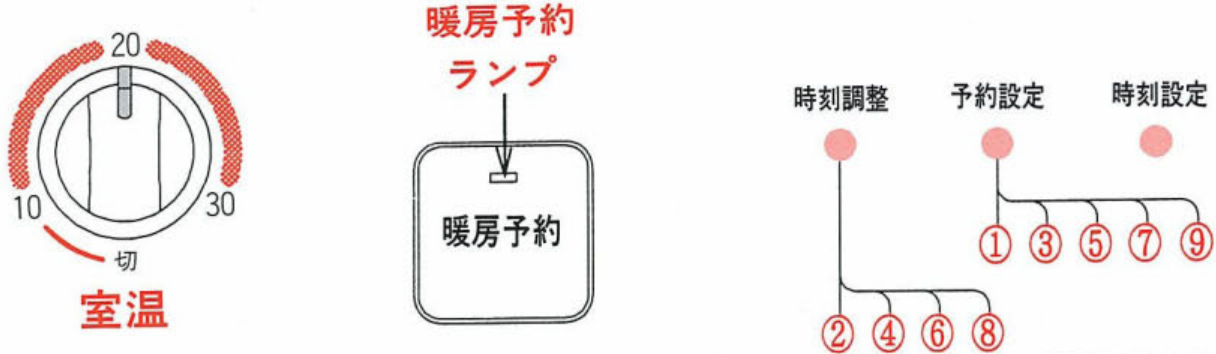


注意

- ・省エネ運転中は蓄熱つまみの設定が無視されます。
- ・翌日急激に気温が下がることが予想される場合には、蓄熱量が不足する場合がありますので、省エネ運転を解除し手動で蓄熱量を設定する事をおすすめします。

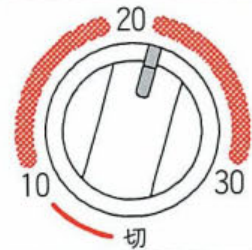
5-5 暖房予約

・タイマー機能を利用して、設定した時間帯のみ、暖房運転を行います。



室温の設定

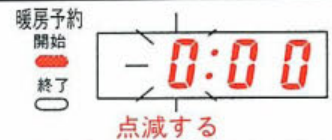
「室温」つまみをお好みの室内温度に合わせて下さい。



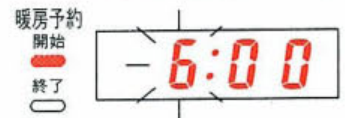
暖房予約時間の設定

例 6時30分から22時40分の間、暖房する場合。

- ① 「予約設定」スイッチを押します。
※開始ランプが点灯します。



- ② 「時刻調整」スイッチを押して暖房開始時刻の「時間」を合わせます。



- ③ 「予約設定」スイッチを押します。



- ④ 「時刻調整」スイッチを押して暖房開始時刻の「分」を合わせます。
※10分単位で変わります。



- ⑤ 「予約設定」スイッチを押します。
※終了ランプが点灯します。







- ⑥ 「時刻調整」スイッチを押して暖房開始時刻の「時間」を合わせます。



- ⑦ 「予約設定」スイッチを押します。







<p>⑧ 「時刻調整」スイッチを押して暖房終了時刻の「分」を合わせます。 ※10分単位で変わります。</p>	
<p>⑨ 「予約設定」スイッチを押すと暖房予約設定を終了し、現在時刻が表示されます。</p>	

<p>暖房予約の開始 「暖房予約」ボタンを押すとボタンの表示ランプが点灯し、暖房予約が開始されます。 ※点灯したことを確認して下さい。</p> 	<p>暖房予約の解除 再度、「暖房予約」ボタンを押すとボタンの表示ランプが消え、暖房予約が解除されます。</p> 
--	---

5-6 時刻の修正

・時刻表示がずれている場合、時刻を修正します。



<p>① 「時刻設定」スイッチを押します。</p>	
<p>② 「時刻調整」スイッチを押して「時間」を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。</p>	
<p>③ 「時刻設定」スイッチを押します。</p>	
<p>④ 「時刻調整」スイッチを押して「分」を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。</p>	
<p>⑤ 「時刻設定」スイッチを押すと、時刻表示部の右下が点滅し、時計が動き始めます。</p>	